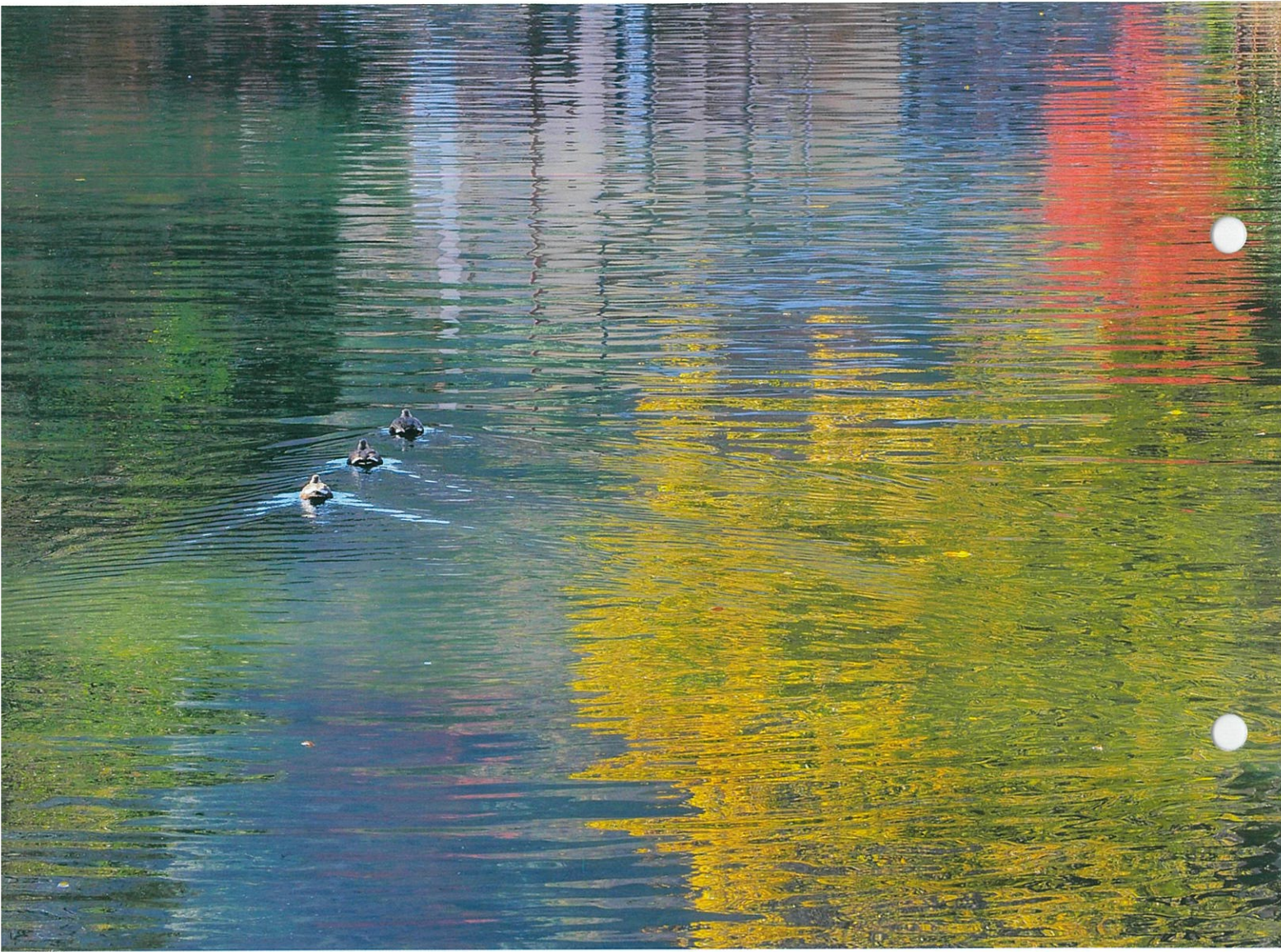


# ほろば silver 人材センター

令和元年(2019年)  
秋号 No.116



## もくじ

- 総務委員会に聞く! ..... 2
- 地域活動だより(西・東・中央ブロック) ..... 3
- 職場紹介「佐川千里SRC」・こども食堂 ..... 4
- 同好会だより(パソコン・英会話)・女性会だより ..... 5
- 安全通信・理事会だより・“走る広告塔” ..... 6
- 私の趣味(バレエ) ..... 7  
クローバー便り(5周年記念イベント)
- ひろば・北プロフェス告知・編集後記 ..... 8

## 紅葉の光を浴びて 静かに進む 鴨の家族

【京都 嵐山】

写真は、倉谷 啓司氏の提供

silver

直撃インタビュー

総務・岡本委員長 山下副委員長に聞く  
女性会・年度会費・役員候補選出方法を中心に

総務委員会とは、言わば「なんでも屋!」。普段、表面に出ない会員の隠れた声を発掘し、それが建設的な意見かどうかを検討したうえ、意見を出し合い、いろいろな問題の解決に努めています。

総務委員会の課題

シルバーの魅力は?

私は、入会后2年目に地区委員になったのですが、地区委員になる人が少ないので、「あみだくじ」で決めようとしていました。貧弱な組織だなあと思いました。

その頃は、「シルバー人材センター」「就業」という面が、多々見受けられました。いろんな方と話をし、情報を集めた結果、組織の知名度が低く、魅力が少ない。



各課題について話す岡本さん



これをアップすることが、課題だと思いましたが、それは人との付き合いを大切にしたい仲間作りがキーポイントとなるでしょう。最も大切なのは、会員さん自身が事務局を頼るのではなく、一人ひとりが自分で進めていこうという意識の向上が大切です。このような考えで、総務委員会の運営に、会員との触れ合いを大切に、進めています。

今年度、特に  
取り組んでいる内容

- ① 女性会の完全立ち上げ
- ② 年度会費の改定
- ③ 役員候補選出方法の検討

女性会の現状と今後の展開

「女性会」は、既にスタートしています。文字通り女性が中心となり運営を進めています。女性会員を増強するため、ボランティア活動によって、配布物にシルバアのシールを貼ったり街頭啓発活動を積極的に行っています。また9月からは、センター2階に、憩いの広場として、喫茶コーナー「和合(なごみ)」を開設しました。そのほか、いろいろなプランを数多

く進め実行しています。今後、女性による身近で、ソフトなアイデアやプランがいっぱい楽しみです。



女性会のことを熱心に語る山下さん

年度会費の改定

年度会費については、会員から、毎年の会員更新時に話題に上がります。安くできればよいのですが、保険料という名目もありました。今後は、センター運営の枠内で考えていくべきだと思っています。現在、話題となっているのは

☆ 年度途中の入会時

会費減額の検討

☆ 夫婦での入会の会費割引

この二つについて、今年度、結論を出し、実施に向けて理事会、定時総会に提案したいと考えています。

役員候補選出方法の検討

今の役員は、現状多くは事務局で、ある程度の人を選び頼んで、役員さんになってもらっているケースが見られます。

理事などの役員はセンター会員の代表けん引者で、運営者でもあります。このような重要なポスト

こそ会員が自ら選ぶものであり、かつ積極的に携わっていただきたいと思えます。人が人を選ぶということは、大変難しい問題です。選挙を進める具体的な手法も、小さな落ち度も許されません。それこそ選挙管理委員会ではありませんが、専門の委員会を作って進めねばと思っています。

総務委員長と副委員長の  
健康づくりと趣味

岡本・ロードバイク(細いタイヤの自転車)で、主に淀川の河川敷を走って嵐山とか神戸に向かって走っています。趣味は「能面打ち」で、1年に2個作り上げます。



能面打ちの岡本さん

山下・登山に凝っています。最近では、比叡山や立山も登って来ました。趣味は「二胡」「太極拳」です。



立山での山下さん



(聞き手・市村茂満・廣澤元一)

# 地域活動だより

## 西ブロック

訪問介護の講習会開催

### 訪問介護講習会

「生きていく座」

西ブロックでは去る4月16日、地域で活動されている看護師で大阪府済生会茨木訪問看護ステーション所長の西森麻喜子さんに講師をお願いし、訪問看護のありかたと延命治療、リビングウィル(意思表示)など、人生の終末期に必要な知識についての講習会を開催しました。題して「生きていく座」。

身近なテーマとあってか、関心も高く、三十数人の参加者の3分の1が会員外だったのも、これまでにないこと。「いざという場合、どこに相談するかなど、訪問看護について実際に聞けてよかった」と好評でした。受講後の参加者アンケートでは、今後も定期的に開いてほしい、との要望が強く、来たる11月には、「終活」を

テーマに第2回を開催します。(坂部利夫)



訪問介護講習の一コマ

### 第2回「生きていく座」

#### 終活について

あなたとあなたの大切な人のために

日時：11月22日(金)

午後2時～4時

場所：穂積コミュニティセンター

※西ブロック外・一般の方も参加できます。

※地域包括支援センター、訪問看護師が参加されます。

## 東ブロック

太田地区夏の風物詩 今年も支える

### 太田ふるさとまつり

2019

地域の皆さんと大いに交流

真夏の太田地区恒例行事、太田ふるさとまつり2019が8月3日、太田小学校で開催されました。

当センターからは、たこせんに4人、缶バッジ販売に6人が参加。テントの設

営・撤収で前日・翌日と汗を流した約20人と併せて合計30人がフル回転。

私が担当した缶バッジ作りは、一人で何個も買ってくれる子どもさんが多く、大盛況。おかげで大勢の方々と交流ができ、シルバーの活動の一端がPRできました。

またガイド班も大活躍。職員によるバンド演奏と併せて大いにアピールしてました。今後とも、



缶バッジ作り(上)とバンド演奏(下)で大活躍

会員の皆さんの積極的なご協力をお願いします。(松田寿明)

## 中央ブロック

会員総出で新会員募集

### 1会員1紹介運動

地域活動で大きな成果

当センターでは、会員拡大が長年の課題となっており、各ブロック単位でさまざまな取り組みが展開されています。そうした中、中央ブロックでは、去る4月

校区委員を中心に、「1人1会員紹介・入会運動」を行いました。

具体的には、会員の募集に特化した専用のリーフレットを作成。付箋付きのメモ帳とセットでブロック4校区計約250人の会員が知人・友人などに手渡ししてシルバー人材センターをアピール、入会を働きかけました。

「60、70まだまだ若い」としよりになんて言わせない!!」「シルバー会員募集中」と題した三つ折りのリーフレットは、コンパクトなうえ、中身も分かりやすいと好評でした。みんなで取り組むことで全員参画の意識づけにもなりました。

こうした努力の結果、4

月から7月までに25人(男12・女13)が入会。今後も、啓発はもちろん会員にとってプラスになる活動を行っていきます。(萩原啓輔)



コンパクトにまとまっていて好評!

シルバー紹介のリーフレット

# 職場紹介

## 企業ニーズにマッチ 早朝労働力で大いに貢献

佐川グローバルロジスティクス株式会社様

### 社内報で当会員紹介される

茨木市最西端の巨大な佐川急便の流通センターに、今回紹介の佐川グローバルロジスティクスの大阪支店千里SRCがあります。現在9名の会員が、早朝からの4時間を、倉庫内で化粧品などのピッキング作業に従事しています。昨年末に就労開始したばかりでしたが、早々に社内報「結」に茨

木市シルバー人材センターを大々的に掲載いただきました(記事参照)。早朝労働力の確保に、当センターの会員を登用して人材不足の解消につなげることが目的でした。約1年経過しましたが、社員の皆様のご指導と就業会員各人の努力で着実にレベルアップを果たし、安定した労働力を提供できており、同社からも高い評価をいただいています。

私の仕事は配送センター内での化粧品や雑貨のピッキング、検品梱包作業です。保管棚間の1.3mの通路を、折り込みコンテナカートを押して20歳代からシルバー世代までの老若男女40〜50人が、ピッキングリスト記載の商品と個数を、ルールに則した手順と方法で間違いがないよう取り組んでいます。我々シルバー世代9人は、ボケ防止と体力維持のためにと、若いパートナーのご婦人方に「負けじ」と午前中の4時間弱を休憩なしで取り組んでいます。



河村さん

### ボケ防止と体力維持に

今年10月、お取引中のお客様の業績が急激に伸びたことと年末に向けての繁忙期が重なり人手不足となりました。パートさんでは主婦の方が多く、朝8時からの出勤が困難で困っていた中、シルバーさんなら朝早くても出勤できる方がおられるのではとご相談した結果、9人の方にお手伝いいただけることになりました。

(河村幸八)

### なくてはならない頼れる戦力！千里SRC所長 豊竹昭一郎



社是と豊竹所長

た。当初は印字された小さな数字や文字を確かめた。最初は印字された小さな数字や文字を確かめた。最初は印字された小さな数字や文字を確かめた。

が、回を重ねることで解消され、今では無くてはならない存在として活躍いただいております。



感謝状を贈呈

他にも市民の方々や茨木市内の企業、シルバー会員の皆様のご尽力でこれからも運営を続けていきます。(渡邊康太)

**ZOOM IN!**

**人員不足という大きな課題を 事業所全員の力で乗り越えました!**

全国の事業所でも存在する人員不足という大きな課題。千里SRCでは主要OPCで多くの人員が必要となるため、対策を練る必要がありました。その一つがシルバー人材の活用で、今では重要な戦力となっていました。

**派遣抵触口**  
お客様の仕事拡大  
近隣の大型物流センターの稼働

**対策**  
多くの人員が必要に

**POINT**

シルバー人材の活用のメリット

- シルバー人材センターが主催する講習会などにより派遣できる
- 通常の求人としては雇用できない60歳以上の人材を確保できる
- 年金支給の兼ね合いもあり、20時間までの勤務・シフトの固定は可能

**CLOSE UP**

シルバー人材センターとは

地域に密着した、臨時的かつ短期的または軽易な高齢者にふさわしい仕事を企業・家庭・公共団体などから職員・委託により引き受け、年齢(原則60歳以上)に提供する都道府県知事認可の公益法人。

わたしのOPCでも活用してみよう!

左から、河村幸八さん、豊田祐司さん、西村和彦さん、田中郁夫さん、松政哲夫さん、大谷茂樹さん、中島美津雄さん

全国ネットの社内報「結」で紹介された会員の皆さん

### こども食堂(ハッピー食堂) 拡がる善意の輪

当センターのこども食堂は平成30年4月にスタート。23人の会員にボランティアで参加いただき、毎月第3金曜日に開催しています。毎回十数人の参加があり、食事や宿題、昔遊びなどで交流しています。「ハッピー食堂」という名前は子どもたちみんなで決めました。今年の3月28日には一周年イベントを開催し、計52人もの参加がありました。ディスコン大会やお菓子作り体験で盛り上がりました。このたびは茨木ライオンズクラブ様から寄付金をいただき、過日当センターより感謝状を贈呈しました。また、大阪教育大学教育学部の松本莉乃さんには実習で毎月参加していただいています。

(渡邊康太)

### パソコン同好会

## 同好会だより

### 英会話同好会

早いもので結成16年目を迎えました。毎月の第1、第3火曜日午後1時半〜3時半までの2時間。内容は『地図入り案内チラシ』『グラフ表計算』など仕事に重宝なものから趣味の音楽CD、画像編集までさまざまです。

習っては忘れ、また覚える、そんな繰り返し私の私たちですが講師の秋山先生の楽しい解説のお陰で継続でき、やり遂げた時の喜びはまた格別です。

脳の活性化に役立つパソコン

### 脳の活性化に！

ンは身近にある便利なツールのサポートセンター2階でやっていますのでどうぞ気軽にのぞいてみてください。

(竹池須美男)



せいぞろいのメンバー

アクティブシニアの趣味活海外旅行やインバウンドの急増で、全国どこに行っても多くの外国人と出会います。もっと気楽に英語でコミュニケーションが取れたらと思います。また、英語が話せるというだけで、なんだか格好いいという気にさせてくれます。

第1、第3木曜日に中学校程度の英語をNHKの学習テキストを使って楽しく学んでいます。

メンバーは海外旅行が趣味の

人など初級から上級まで、バラエティーに富んでいます。

英会話を趣味の一つとして、生涯続けていきたいらと考えています。

(後藤政市)



和気あいの学習風景

(注) ※海外からの旅行者

## 女性会だより

ちょっと一杯やりながら  
わいわい交流の「しるばあBar」

★開店 8月30日5時PM



★しるばあBar開店に向けて！

8月下旬天候不順で、当日のお天気が心配でしたが、3時頃には青空が見え、ホッとしました。

当日、11時

頃から買い物や下ごしらえ、おにぎり作り等張り切って準備し、5時に予定通りに開店することが出来ました。

大勢のお客様のおしゃべりと笑い声にあふれ、大盛況でした。

次回にはお

でん等も加え、もっと皆様喜んでもらえるよう、楽しい場へとつなげていきたいと思っております。

(阿辺山美智子)

★お客として行ってみました！

夕方5時の開店と同時に店内は心待ちにしていたお客さまでいっぱい。「お品書」は焼きそば、たこ焼き、えだ豆酢のもの、ピザ、一番人気のだし巻きなど、オール100円。アルコールも一通りそろい低価格でした。

店内では、女性会メンバーはじめボ



一杯やりながら交流を！

### ピアノに合わせて歌う！

女性のためのとくどく講座の第2弾として、歌の講座が9月3日に3回講座の1回目が開催されました。

講師の北川朝美先生のピアノに合わせて、心をほぐす歌で、楽しいひとときを過ごしました。次回は懐かしの演歌も加わる予定です。(橋本由紀子)

### 会員拡大啓発ボランティア

女性会独自のボランティア活動に大勢の参加もあり、シール貼りも1日で終え、阪急とJRの茨木駅付近にて、啓発活動としてシールが貼られたぬれティッシュと配布物を手渡しました。参加ボランティアは9月9日、11日の2日間で延べ47人でした。

シールメーカーやクリスマスコンサートの計画を進めています。

女性会員の積極的な参加をよりよくお願いします。(山下邦子)

\* Bar 開店は毎月最終金曜日

ランチアなど十数人の会員がおもてなしを担当し、慣れないオーダー取りや厨房とテーブルの行き来で汗を流していました。店内は終始、和気あいあいムードであふれていました。

(川野正照)



おもてなしに忙しいスタッフ

### 安全適正就業通信

#### 安全パトロールの実施

安全・適正就業強化月間において7月12日(金)に安全・適正就業委員、安全就業推進員および事務局で安全パトロールを行いました。

- 安威川河川敷公園(除草現場)
- 追手門学院大学
- 総持寺キャンパス(施設清掃)

#### 文化財資料館(剪定現場)

いくつかの指摘事項はありましたが、いずれの就業現場も、暑さの厳しい中、安全第一を心がけ、適正に就業していることが確認できました。



安全パトロール中!

今後も、会員の皆様事務局が丸となって安全就業に取り組んでいきます。

#### 上半期事故減少!(前年比)

『安全適正就業』を推進し、本年度の上半期に発生した事故は別表のとおりです。

前年の発生状況を下回っており、自転車事故はゼロでした。これも皆さんの安全に対する意識の向上のおかげです。

下半期も引き続き安全就業を心がけていただきますようお願いいたします。

傷害事故	1
①途上	(0)
②就業中	(1)
賠償事故	1
合計	2

自転車事故	0
-------	---



#### 生活習慣病は予防から

生活習慣病予防は、運動習慣や食生活、疲労、喫煙、飲酒など毎日の生活習慣を見直すことから始まります。

また年に一度は健康診断を受診しましょう。

- 1 食事の摂取量は腹八分目を適量にしましょう。
- 2 野菜の摂取量を増やしましょう。
- 3 1日3食、規則正しく食事をしましょう。
- 4 日常生活では、積極的に体を動かし歩きましょう。
- 5 自分に合った運動を継続しましょう。
- 6 しつかり睡眠をとりましょう。
- 7 禁煙に努力しましょう。
- 8 お酒は適量を守りましょう。



(伊澤正喜)

#### 走る広告塔 近鉄バス 地域にアピール!!



ロングボディの側面に、センター名と電話番号、周りに仕事のイラストをあしらった近鉄の路線バスが、7月から走っています。現在は阪急茨木駅からJR茨木駅を経由して阪大病院方面へ1日6往復ほど運行しています。赤地に大きな白抜き文字でインパクトも大。シルバーの存在を、動く広告塔でアピールします。来年6月まで掲出予定。(川野正照)

#### 茨木おいも グルメフェア

##### 今年も参加します!

11月に開催される「茨木おいもグルメフェア」に、「クローバー」も例年通り参加します。今年のテーマは「どら焼ききんとん」。どら焼きの生地の上に、芋きんとんとあんこ、おまけに白玉団子がたっぷり。価格300円。

#### 理事会だより

令和元年度第2回理事会が7月24日に開催されました。

##### ▼報告事項

- 正会員の入会について
  - 一般事務の報告
  - 会議等の開催状況
  - 研修会の実施状況
  - 上部団体等の総会状況
  - 独自事業の実施状況
  - 普及啓発活動等の実施状況
  - 各委員会の活動と報告
- 定例理事会では、会員の皆さまの意見および各種提案を反映すべく審議を行っています。

(岡本悦司)



#### 2019 オータムフェア開催

日時 10.19(土) 10:00~15:00

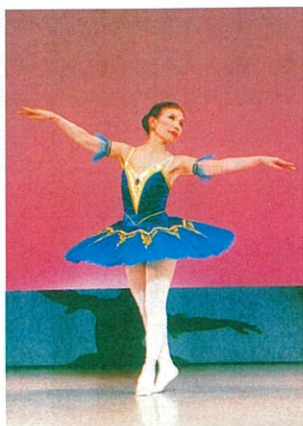
場所 シニアプラザいばらき

茨木市桑田町24-21 ☎632-7411

- ふれあい動物広場
- トレイン広場(動く鉄道模型)
- 模擬店 ● ニュースポーツ



「ラ・パヤデール」  
幻影の場のバリエーション



パキータのバリエーション  
(アルニードの館より)

# 私のモットーと私の趣味

椋木リキ(会員)

## ●私のモットー

「毎日をアクティブに過ごす」  
ことです。仕事だけ、家庭だけ、趣味だけではなく、それぞれを上手に調和させ、自分らしいライフバランスを大切にしたいと思っています。

## ●私の趣味は踊る喜び

クラシックバレエを踊ることで、舞台上上がると、客席からの自然に沸き起こる拍手に何事も忘れて踊る喜びを感じますし、自分

## ●感謝と秘訣

子育てが終わって75歳の現在までクラシックバレエを続けてこれたのは、この丈夫な体のおかげです。感謝状をあげたいですね。そして、何よりも周りの方々と主人、家族には大いに感謝しています。毎日アクティブに過ごすことを実現するには、好きなことは無理せずに自然体の姿勢で向き合うことが秘訣のように思います。

らしく踊ることの満足感を得ることが出来ます。踊ることが大好きな私は「最高に元気」になれます。バレエから得た「継続は力なり」の言葉を胸に秘めて進みたいと思っています。

## 「クローバー」5年間の歩み ～上島リーダーに聞きました～

★5年前の夏、空き店舗を利用したシルバリーの独自事業として開業しました。営業経験もない高齢者のお店とあって、大きな不安を抱えてのスタートでした。それでも、1日10食、20食と増えていくたびに、スタッフにも笑顔が出、「もっと、もっと!」という思いで頑張ることができました。

★2年目には念願だった弁当販売をスタート、3年目には月



記念イベントを告知したボード

「金曜の週5日営業体制となり、充実を図ってきました。対外デビューとなったイオン新茨木店での調理実演は、今でもすてきな思い出です。」

★毎年秋には市内約50店舗が参画する「茨木スイーツフェア」に参加。2年前には安威川ダムPRの「ダムカレー」を販売するなど、チャレンジを続けています。

★「クローバー」のスタッフは現在約30人、平均年齢72歳です。その日に用意するランチもお弁当も、当日朝から手作ります。「ワンコインで、おいしくてバランスの取れた食事ができる」と利用者の声をいただけるのがひそかな喜びです。

## 5周年記念イベントに 参画して

シルバーショップ「クローバー」は、8月25日で5周年を迎えることができました。そこで日ごろお世話になっていらっしゃるお客さまに感謝の気持ちを込め、5周年にふさわしいイベントを企画。8月末までの2週間を、クイズやサイコロで無料券をプレゼントするなど大いに楽しんでいただきました。「わあー、当たった!」などのお客さまの声を聞くと、疲れも吹っ飛んでうれしくなりました。

期間中、お昼のランチなど連日盛況で、延べ980人の方に来店いただきました。こうした幅広いお客さまに支えられてきたからこそ、5年間も続けてこられたのだと思っています。今後も『お客さま第一』で努力を積み重ねていかなければ、と思っています。(江崎はるみ)



おいしいランチににぎわう店内

# シルバーショップ「クローバー」便り

めでたく躍進!



事務局 飯倉 一史

ペイント画



会員 梅林 孝美

絵手紙

会員 富澤 秀雄

文楽の人形哀れ女郎花

天窓は星の入り口涼新た

俳句

ひろば



皆さんの仲間  
(会員数)

8月31日現在	
男	1048人
女	507人
計	1555人

北部ブロック(7市3町)によるシルバー人材センターフェスティバルが、今年は豊中市で開催されます。今年は当センター職員の伊澤が実行委員長に就任。センターの普及・啓発活動、キャラクターショーや北摂7市のゆるキャラの練り歩きなどの楽しい企画です。

茨木市は、ポン菓子の無料配布と、北摂つばさ高校の美術部に協力いただき類似顔絵缶バッジを販売します。

会員の皆さまも、ぜひご家族やお孫さん連れでご来場ください。

- 開催日 10月19日(土)
- 時間 午前10時〜午後3時
- 場所 豊島(てしま)公園  
(豊中市曾根南町一丁目4)
- 交通 阪急曾根駅徒歩5分

来年度は茨木市での開催です。  
(伊澤正喜)

北部ブロック  
フェスティバル

10月19日(土)開催



- お金のスタート
- 春 豊 豊 豊
  - 夏 梅 花 生 花
  - 秋 花 花 花
  - 冬 美 美 美
- (萩原啓輔)

◆清掃の奉仕活動  
シルバー会員以外の人にも関心を持ってもらい、地域環境をみんなで再確認していただきます。

◆普及啓発活動  
チラシ配りを駅前他で行い、当センターの事業内容を、広く、多くの人に知ってもらう「きっかけ」を提供します。

日時：10月21日(月)午前10時  
場所：中央公園南グラウンド集合

第28回クイズ

分かるかな? ○に入る漢字各番号にある単語と左の単語を組み合わせて熟語にします。

①真○・口○・充○・○験 ↓ **A**  
 ②生○・梅○・○火・造○ ↓ **B**  
 ③青○・○樹・○物・結○ ↓ **C**

答えは?  
花・果・根・葉・実

秋の奉仕・普及啓発  
つながりの輪を!

10月21日(月)開催!!

編集後記

最近「居場所」という言葉を耳にする機会が増えたと思います。辞書を引くと、居どころや、その人が心を休めたり、活躍したりできる環境とあります。

茨木市シルバー人材センターでは2年前からこども食堂を運営しています。地域の子どもと、保護者を対象に、職員と会員のボランティア協力者で月一回のペースで時間を共有する交流会を開催しています。まさに居場所作りの活動のひとつだと思います。

子どもたちにとっての憩いの場になり、同時に保護者にも高齢者の知識や力を実感し、安心してもらえる場になっていくことを願ってやみません。

諸般の事情から、高齢者の居場所が不足しており、解消に向けてさまざまな取り組みがなされています。孤独感を払拭し、仲間を作り、支え合いの輪を拡げることが誰かが望んでいると思います。一人一人が自ら交流の場に関わるべく、行動を開始したいものです。

各人にとって可能な居場所は無いと思われず。試行錯誤の精神で、可能性を求めてスタートしましょう。

(川崎博一)